

三原市立宮浦中学校第3学年 国語科学習指導案

単元名：人間と社会との関わりについて考える 『故郷』

指導者：三原市立宮浦中学校 中野 美香

- 1 日 時 : 平成24年10月29日(月) 第6校時 14:45~15:35
 2 場 所 : 3年2組教室
 3 学年・学級 : 第3学年2組(34名)
 4 単元名 : 人間と社会との関わりについて考える 故郷

1 単元観

本単元は、中学校学習指導要領国語(平成20年、以下「指導要領」とする。)第3学年「C読むこと」の「エ文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。」を受けて設定している。

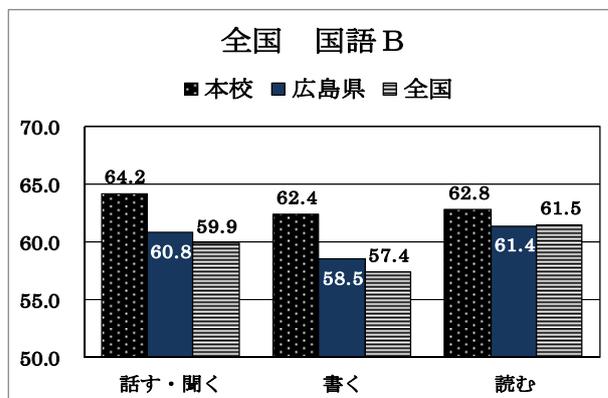
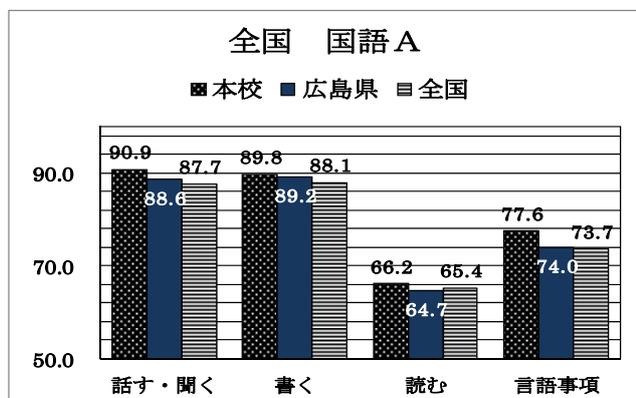
中学校学習指導要領解説国語編(平成20年)には、『文章を読んで人間、社会、自然などについて考え』とは、様々な文章を読むことを通して、そこに表れているものの見方や考え方から、人間、社会、自然などについて思いを巡らせることである。このような学習から確かな思想が形成され、豊かな心情が養われ、人間としての成長が期待される。」と述べられている。また、『意見をもつ』とは、ある事柄について自分の立場や根拠を明確にした考えをもつことをいう。」と述べられている。さらに、「第3学年では、主として文章全体を受けて自分の意見をもつことを求めている。」と述べられている。

この作品は、故郷に別れを告げるために、20年ぶりに帰郷した「私」が、故郷の人々との再会を通して、失望し、故郷を去っていく重苦しい内容の小説である。しかし、最終部の情景描写から読者は、明日への希望を感じることができる。この小説に描かれている中国は、清朝末期で、政治的にも混乱が続き、非常に不安定な状況であった。「故郷」は、このような、時代の変動の中に生きる「私」やルントウ(閩土)、ヤン(楊)おばさんなど、登場人物の生き方や考え方を通して、人間の姿や社会の在り方について考えることができる教材である。

このようなことから、この単元を学習する意義があると考えられる。

2 生徒観(調査結果からみる課題)

次に、平成24年度に実施された「全国学力・学習状況調査 国語」の結果を示す。



本校では、国語A、Bともに、どの領域も広島県平均、全国平均を上回っている。しかし、本校でも、県、全国と同様に、国語A「読むこと」の通過率が他の領域よりも極端に低く、課題であると考えられる。広島県平均を

見ると、国語A、Bともに、「読むこと」の通過率のみが、全国平均を下回っている。「読むこと」の領域は、広島県全体の課題であると言える。

このような課題を踏まえて、この単元において、発問を工夫することや具体的な言語活動を組み合わせた学習を行わせることで読みを深めさせていきたい。

3 指導観（指導改善のポイント）

この単元において、「指導要領」に示されているように、文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもたせるために、まず、読みを深める必要がある。その手立てとして、視点を変えて読むことを取り入れる。これまで、この作品では、主人公「私」の視点から文章を読み取っていくことが多かった。他の登場人物の視点から読み直すことで、人間や社会についての考えを深めさせたい。また、別の訳文を部分的に提示し、教科書の文章と比較することで、今までとは違ったとらえ方をさせ、翻訳された外国文学の面白さや課題の一端も知らせたい。

具体的には、登場人物の視点に立たせる活動として、登場人物にインタビューして紹介する記事を書く活動、場面を劇化して演じる活動などの言語活動を取り入れる。それは、これらの活動を行うことで、生徒は文章を主体的に読み、読み取ったことを交流することになり、読みを深めることができると考えるからである。これらの活動と、グループ活動を適宜取り入れることで、共感的な人間関係も育んでいきたい。また、本校では、『基礎・基本』定着状況調査から明らかになったように、「授業の復習はしているが、予習ができていない。」という課題がある。予習をすると授業がわかりやすいと実感できるように、予習プリントを行わせる。その際、予習プリントを2パターン準備して、自分の力に合わせて生徒に選択するようにさせる。C評価生徒の支援にもなるようにプリントの内容を工夫する。

4 単元の目標と評価規準

単元の目標

- 作品を通して人間と社会との関わりについて考え、自分の意見をもつ。
- 情景や人物を描写する語句や表現を評価しながら、登場人物の心情や作者の意図を読み取る。

単元の評価基準

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
単元を貫く言語活動		
ア 物語や小説などを読んで批評する言語活動		
①作品に描かれている人間と社会について考えようとしている。	①作品を通して人間と社会との関わりについて考え、自分の意見をもっている。 ②情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取っている。	①作品に出てくる漢語などから語感を磨き、語彙を豊かにしている。

5 指導と評価の計画

全6時間 (本時は3/6)

次	時	学習内容 (時数)	主な学習内容			評価方法	
			関	読	言		評価規準
1	1	本文を読み、話の流れをとらえる。(1)	◎			作品に描かれている人間と社会について考えようとしている。	内容の大体と物語・小説の特質を理解する プリント ワークブック
2	2	「私」の境遇、帰郷した時の心境をとらえる。(1)		◎	○	情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取っている。 作品に出てくる漢語などから語感を磨き、語彙を豊かにしている。	ワークシート
3	3	記者になって、ヤンおばさんにインタビューし、紹介することでヤンおばさんの状況や心情をとらえる。(1)	○	◎		作品に描かれている人間と社会について考えようとしている。 情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取っている。	過去と現在のヤンおばさんを比較するプリント (予習) 紹介文
4	4	ルントウとの再会を劇化し、ルントウの心情に迫る。(1)	○	◎		作品に描かれている人間と社会について考えようとしている。 情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取っている。	過去と現在のルントウを比較するプリント (予習) ワークシート
5	5・6	故郷を去る「私」の心情をとらえる。人間の姿や社会のあり方について、考えたことを文章にまとめる。(2)		◎	○	作品を通して人間と社会との関わりについて考え、自分の意見をもっている。 作品に出てくる漢語などから語感を磨き、語彙を豊かにしている。	ワークシート

6 本時の展開

(1) 本時の目標

ヤンおばさんの状況や心情・人物像を、社会背景と関連させながらとらえることができる。

(2) 観点別評価規準

◎情景や人物を描写する語句や表現に着目し、登場人物の心情や作者の意図を読み取っている。

○作品に描かれている人間と社会について考えようとしている。

評価方法：プリント・紹介文

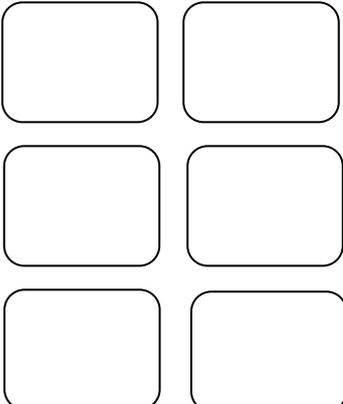
(3) 準備物

ホワイトボード・プリント（紹介文・人物像・自己評価）

(4) 学習の展開

	学習活動	指導上の留意事項及び評価（■） （努力を要する生徒への指導の手立て◆）
導 入	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 習得確認 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・予習のプリントを確認する。 ・音読をする。（ペア読み） 	<ul style="list-style-type: none"> ■◆予習プリントの授業前チェックをする。 ◆机間指導により、補助する。
展 開	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px; margin-bottom: 10px;"> 【本時の目標】 ヤンおばさんへのインタビューをもとに紹介文を書くことで、ヤンおばさんの状況や心情・人物像をとらえる。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 集団思考 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○作戦タイム（グループ学習） ・ヤンおばさんチームは、質問内容を予想し、答えを話し合う。 ・ヤンおばさん以外の人には、質問内容を考える。 ○三つの班を1グループとし、2回インタビューを行う。（全体） <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 個人思考 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○紹介文を書く。 ○紹介文を交流する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> 集団思考 </div> <ul style="list-style-type: none"> ○ヤンおばさんの人物像を、班でホワイトボードにまとめ、発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■質問を考え、予習プリントに質問内容を書いてこさせる。 <p>【言語活動】</p> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 話す活動 受け答えの技術 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">インタビュー</div> <ul style="list-style-type: none"> ■インタビュー内容について、メモを取らせる。 ■受け答えに際して、3ポイント発言〔①つなぐ ②結論 ③理由〕を意識するように促す。 <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block; margin-bottom: 10px;"> 書く活動 情動的確に分析する技術 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block; margin-left: 20px;">紹介文を書く。</div>
	ま と め	<ul style="list-style-type: none"> ○ヤンおばさんの人物像を各自でまとめる。 ○自己評価を記入する。 ○宿題を確認する。 プリントウとの再会の場面を音読し、予習プリントをやってくる。

8 板書計画

	ヤンおばさんの人物像	○ ○ ○	○ 印象に残った答えを教師が板書する。 三名のヤンおばさんについて二〜三程度	インタビュー	ねらい ヤンおばさんへのインタビューをもとに紹介文を書くことで、ヤンおばさんの状況や心情・人物像をとらえる。	故郷 魯迅
---	------------	-------	---	--------	---	----------

9 参考文献

- 1) 『中学校学習指導要領解説国語編（平成20年度）』文部科学省
- 2) 中西一彦 『『故郷』（魯迅）の授業実践史』：浜本純逸監修，田中宏幸・坂口京子編著『文学の授業づくりハンドブック 第4巻 一授業実践史をふまえて』溪水社
- 3) 村上呂里 『『故郷』（魯迅）における二重映しの〈月〉の風景と〈無〉の思想』：田中実・須貝千里編著『文学が教育にできること―「読むこと」の秘鑰〈ひやく〉―』教育出版
- 4) 河野庸介：『国語科授業にスリルとサスペンスを』教育出版